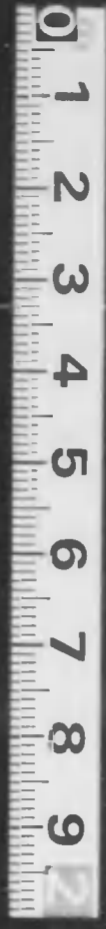


寫眞週報

内閣情報部編輯  
十一月廿三日・第十四號・十七

昭和三十三年十一月廿三日 第三三三三號 第三三三三號 第三三三三號 第三三三三號 第三三三三號



明け行く蕃社





呼吸器の弱い人  
 食慾のない人  
 病中病後の人  
 産前産後の人  
 冷え症の人  
 虚弱小児に

**強壯剤の選び方**

上記の様々な人にはどんな強壯剤がよいのか？

元來 胃腸が丈夫で消化さへ充分に行はれて体内に吸収されるならば、どんな滋養剤でもよく身につきますが、胃腸の弱い病人や虚弱な人にはなか／＼思ふ様に行かすムダに終ることが多いものです。それ故

体内 消化の煩ひがなくて胃腸の弱い人にもそのまゝ吸収され、且つ栄養価の多い製剤……即ち消化済みのアミノ酸製剤ポリタミンが最も合理的な強壯剤として推奨を得てゐる次第です。

食慾をすすめ  
 體重を増し  
 體質を強化する

**アミノ酸製剤**

ポリタミンは牛乳蛋白を消化したアミノ酸製剤にビタミンBを配した製品ですから、胃腸の人にも容易に吸収されて栄養を充實し、體重を増し、その上アミノ酸の全身細胞賦活作用によつて新陳代謝を旺んにし、食慾をすすめ、抵抗力を強め、體質を強化します。

小瓶（一圓五五錢）  
 中瓶（二圓五〇錢）  
 大瓶（四圓五〇錢）

發賣元 株式会社 武田長兵衛商店  
 大坂市東區船場町  
 全國藥店にあり

**揚子江輸送船隊**



揚子江を溯ることは今でも中々の危険である。殊に敵近くまで船を進めて軍需物資をたえず輸送することは生命を懸つての業であつて、これを敢行するが輸送船隊の働きは前線の勇士と何の變りもない。湖々たる濁流を湛へて流れる揚子江にはまづ、砲雷が盛んに浮遊して来る。これに觸れたら最後船は木葉微塵に壊されてしまふ。それから江岸には航路標識がない。一つ残らず敵に破壊され、持ち去られてしまつたのである。また江岸からはいつ種敵の砲撃をうけるかわからない。その上敵の空襲に備へて嚴重な煙火管制を行つてゐるから殊に夜間の航行は命懸けである。それ故、船の事故を最も警戒して、敵襲をうけた場合は全速力で危険區域を突破出来るやう用意をとらへてゐる。

あらゆる危険に備へ、任務遂行に萬全を期するためには、船長から火夫に至るまで全船員は任務の終るまで文字通り不眠不休の活動をつづけねばならない。いや、任務の終つたあとでさへ、いつ何時命令が下つても出航の出来るやうに火夫は機関に火を入れ、船長は船に碇泊りをするのである。しかしかうした苦勞の中にも、無線メーソを船内に出して前線に行く兵士に遠く故國のなつかしい便りを知らせたり、又江岸に守備する勇士に廣東陥落、武漢攻勢の大ニュース等を胸躍らせながら手紙傳で送るときなどの喜びは、勞苦の中なればこそそれだけに大きい。

船長さんは士氣で固まれた船橋に立つたまじ片時も水路から眼が離れない。切れて漂流して来る機雷の脅威と兩岸の敵船と、食事中でさへ船橋に立つて、冷えた御飯にお茶をかけて流し込む。



日丸を高く掲げた和船の一隊にゆきあふ輸送船の甲板で戦艦をうち振る兵隊さん「オライ、やつとるなあ、俺達も来たぞ」

長江の要港〇〇に到着した輸送船〇〇丸から一隊の兵隊さんがランチで上陸していった。上海からここまで、幾多の危険を冒して輸送して来た母船は、離れてゆく兵士に多幸なれと静かに見送つてゐる。

航路標識の持ち去られた長江の行く手には何が待ちうけてゐるやらわからぬ。支那風な寺院のある孤島もたゞ一見眺めたなあーと見えてゐるわけにはゆかない。やけくその敗残兵は何處にでも隠れて発砲して来る。



戦地をゆく運送船でも廢品を賣つて、國防金が行はれてゐる。彈の下に居ればゐる程なほ國防の重大さを身にしみて知る。空瓶を一二つと數へる頭上をヒーンと一發流弾が通る。



九江を抜船した。陸からこの運送船に信使が来た。「ハンカオニツイカラ〇〇ブタイノイケダウイドノニデンゴクノム、ムラキキイチロハスツカリナオツツギノフネデエクト」兵隊さんは長江を自分の家の裏手に流れる小川のやうに考へ出した。



撮影内閣情報部

# 法燈の影和光



日本男子  
河田行誠氏  
佛徒  
河田行誠師

## 大陸の經營に 献身する權僧上

「日軍百萬上陸杭州北岸」といふ新聞的  
なアドバースが上海と大連にあり  
不審をこつた頭敵が總動員して江南一  
帯の地が完全に皇軍の占領するところと  
なつてこゝに一年餘。皇軍が敵前奇  
襲上陸を敢行した江南の占領、五十萬の  
人口、八百の古刹がある杭州の街は、今  
や身命をなげうつてひたすらその復興に  
盡してゐる。日本人の布教師の力によつ  
て漸々新しく朗らかな息吹きをとりも  
どしつゝある。奈良、蓮長寺（日蓮宗）  
の住職、權僧正、河田行誠師（四十二  
歳）がその人である。

河田行誠師は本年七月、名譽の召集を  
うけたが、不幸病のため即日歸郷を命ぜ  
られた。そこで河田師はたゞちに從軍僧  
を志願、八月中旬大陸に渡り軍特務機關  
の計らひで杭州の街を第二の故郷と定  
め、師一生涯の大事業がこゝに根をは  
り、師の指導の下に支那民衆の更生は  
着々として進み出したのである。紡  
績工場は動き出し、難民には衣食住が興  
へられ、無料診療所は無智の民衆にあた  
たくむかへ、學校は支那小國民に新ら  
しい秩序を教へるやうになつた。  
皇軍の進むところ、いま大陸には幾人  
かの河田師が北支中支に活躍してゐる。  
聖職の尊い使命は師等の後にも既に芽生  
へて來てゐる。

撮影 F・L・ハミルトン



寺院の御堂をかりて難民救濟所  
が出来た。食のなにもには食を  
着物のなにもには着物を、そし  
て一番大切なことは、行誠師の奔  
走で彼らのすべてに組織的に賑が  
興へられたことだ。さアこれから  
みんな働らくのだ。

「安心していよ、しばらく養老  
院に入つて身體をなほしなさい。  
子供は私があづかつてあげる。」  
何十年かの支那暴政の歴史が老  
妻の顔に刻んだ深い皺も師の温情  
にはころびかける。

お寺の多いこの町、——とこ  
ろが支那の坊主たちはほとんど文盲  
でしかも彼らは何宗に屬してゐる  
かも知らない。譯々佛の道を説  
き彼らの社會的地位を自覚させよ  
うとする行誠師の努力には非凡な  
ものがひそめられてゐる。

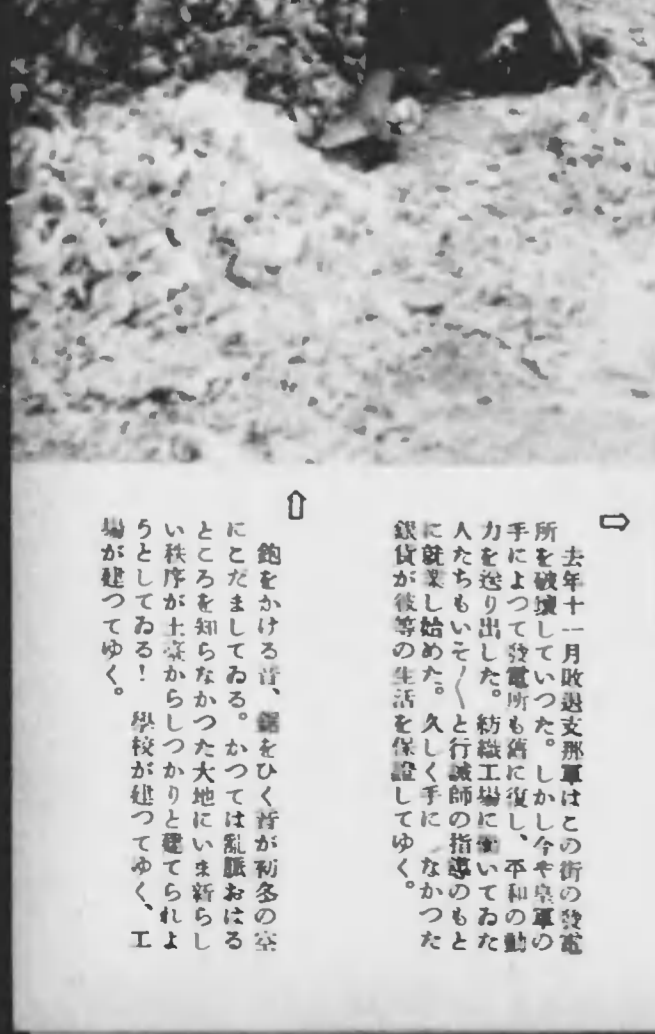




一 支那老僧の面白い表情の裡には今までの懶惰安逸にゆけり積弊生活に浸つてゐたことが無言に語られてゐる。だが、この老僧にも新しい建設、新しい秩序のために協力してもらはねばならぬ。

人々がほんとうに安居樂業するには百年を要する。行誠師は百年計畫を立てた。自分一人では駄目だ。支那の少年の中から指導的な後継者を仕立てなくてはならないのだ。

竹籠の製造に専念する人々。まだごく原始的な生産形態であるが、行誠師の指導で、生活は安全になつた。



去年十一月敗退支那軍はこの街の發電所を破壊していつた。しかし今半草軍の力によつて發電所も再び復し、平和の動力を送り出した。紡織工場に働いてゐた人たちが「久しく手になかつた銀貨が彼等の生活を保證してゆく。」

飽をかける昔、籠をひく昔が利冬の空にこだましてゐる。かつては賑賑おはるところを知らなかつた大地にいま新しい秩序が土壌からしつかりと建つてられようとしてゐる！ 學校が建つてゆく、工場が建つてゆく。



カブニニキス  
 フリゴのヨロシキオアヘマ  
 リヤイドトシヤララズ  
 イヒカウヨニユミシヤ  
 クワヤシヤノニウハ  
 クミナヒロナニウハ  
 カラチシヤハコラ  
 ニソバンノヒヤコラ  
 テカウマハアウラシヤ  
 十六イウハハイウ  
 ナホトシヤ



東天高く雲晴れて  
 昇る旭日の姿こそ  
 天晴と共に輝る  
 日出る國の景なれ  
 (臺灣青年會から)  
 社前に集まる武進長  
 久を祈る高砂族

善地では警察官はあらゆる  
 方面の指導者だ。村長さんも  
 学校の先生もお医者さんも  
 土木産業の技師もみんな駐在  
 所の警察官が受持つてゐる。  
 右は診療所で治療中の警察官  
 下は教育所で授業中の警察官  
 来て遊戯中の警察官。



# 明け行く蕃社

臺灣總督府

その昔... 蕃社とマラヤと南洋を代名詞とし  
 た南の島嶼。そこには今も昔のまゝに買取りを  
 する生業が居て危殆に瀕したと思ふならば、そ  
 れはあまりにも驚嘆不足といふものである。  
 成程、かつては高山峡谷に隠れて現代文明は  
 およそ浸透しなかつた。彼等がたゞ彼等であり  
 僻地僻地と自認し、出来ぬと云はれた生業  
 である。今では彼等自身謀生を意味する生業又は  
 蕃人といふ呼び方を嫌ふので一般に高砂族と呼ん  
 である。ではあつたが、四十四年のわが日本は  
 蕃に彼等の迷途を導き、福来の期を打撃して蕃  
 山脈なく日軍旗を掲げて、日本人たるを誇るに  
 至らせたのである。  
 内地からの觀光、登山者が一歩ずつ蕃社(計  
 画的に高山地帯から、山脚地帯に集積移住させた部  
 落)に足を入れ、或は登山の途中に出遇つた團體委  
 も頼みしい青年や、モンペ姿の蕃社の少女とい  
 らつしやいませ! 今日はい一層と優しく挨拶さ  
 れた時、これが買取りで有名な生業部高砂族の  
 標幟を以て聞えた蕃人だらうかと一應は疑ひの眼  
 を向けずには居られないであらう。  
 明治二十八年結成の當初から数年の間は、平地  
 の本島土産が糧食をつよめたため、蕃人に對し  
 ては殆んど力を用ひる事は出来なかつたが、明治  
 三十五年頃から次第に理蕃に力を盡したのであつ  
 た。所が文字通り全くの無智無識であつて、眼前  
 に横はる山間の小天地だけを世界と信じ、古来の  
 勇武を誇り、天敵を待む彼等の中には容易に官命  
 に従はない者も少なくなつたので、明治四十三年  
 年から所謂五年計畫の生業部高砂族を行ひ、完全  
 之を肅清して次第に撫育本位に進み、遂に明治理  
 蕃の今日をたらしたのである。  
 高砂族は現在人口僅かに十五萬二千餘人では  
 あるが年々増加の傾向にあり、福島の海軍、  
 官制、風俗等の相違からイタル、サイセツト、  
 プメン、ツオウ、パイワン、アミ、ヤミの七種族  
 に分れ、臺灣山脈一帯の特殊行政區域(理蕃行政  
 區)に住んでゐるが、東部に住むアミ族及びパイ  
 ワン族の一部は既に進化の度が高いため、大正の  
 中期から普通行政區域に編入され、内地人、本島  
 人と混住してゐるので、理蕃行政區域内に居るのは  
 九萬四千餘人に過ぎず、それでも蕃情に應ずる  
 と特だ設備は全部官に提出して置かれてゐる。  
 そのため警備は漸々、貯金は増え、間に  
 した警備は殆んど影を消し、蕃人は去つて和洋混  
 へと入り、移住に伴つて住宅設備と共に彼等の生活  
 も亦漸次的に近代化に近づいてゐる。  
 理蕃行政區域には、家庭には大抵を兼業して理蕃  
 生活の中心とし、僅年四五年の教育所や一般  
 高砂族のための團體事務所が置かれて居られ、  
 老幼男女を問はず日本精神の涵養と國語の習熟に  
 努力を盡してゐる。元來村制、純血で、信實に厚  
 い彼等は、警察官を凡ゆる部面の指導者としてこ  
 の責を維持しながら、明朝蕃社の建設に努めて  
 ゐる。  
 今次事變の勃發は彼等の進化に一段の拍車を掛  
 け「吾も日本人なり」といふ誇りの下に、同胞死  
 人の恥を感ず、陣頭に躍出するはこれとばかり、  
 國防資金に財閥の作製に、或は出征軍人遺族家  
 族の慰問、勤勞奉仕に更に進んで防衛に、  
 軍夫、看護婦志願に心からの熱誠を捧げ、純情か  
 ら迸る幾多の愛を産んでゐる。  
 黎明の鐘が東亞の大鐘に響くとき、蕃社も亦  
 雄的に明け行くであらう。

攝影 臺灣總督府



凡そ耕しうる所は平地でも山地でも、島とせねばならぬ。今、姉さんかぶりの旗の手にうれしい種を取入れが始まつた。



妻女の屋内仕事には養蚕の他に麻布織がある。織方はなほ原始的だが、彼等はこれに通常服の自給自足をす



高砂族のための物品交易所、彼等は自分の生産したものをこゝへ賣り必要な物品をこゝで買ふ。所長はやはり警察官である。



月影深く照らす蕃社の小舎から美しいメロデーが流れて来る。文化の進歩はこゝにも及んで、夕食後の團樂に茶音機をかこむ家もある。

深い幽谷、かつてはこゝに蟻居してわが討伐に及向つた高砂族もいまは日本人の誇高く、鉄線橋を幸福な足どりで渡る。



狩獵——昔はこれが彼等の主要な生活手段であつた。原始的な生活であつた。



皇民化はまづ生産方法の皇民化から。今は蕃社の乙女が警察官の指導をうけて養蚕にはげむ。



特殊行政区(蕃地)と普通行政区との境界。蕃地にも坦々たる道路がついた。そして日本文化が日本精神が移入されてゆく。



昔ながらのかりした旧式な陋屋がまた所々に残つてゐるが、



衛生的な、生産的な新式の改良家屋に次第に建てかへられてゐる。



防空監視に平日なき高砂族青年、大陸に對してわが最前線を承る者なり、而も事變勃發以來、實際に敵の空襲をうけた高砂の青年は、大空をにらみつつける彼等の瞳は射るやうに輝いた。



朝鮮ふんで銃後に敵へる高砂族——  
島を背負ふて立たねばならぬ  
君の御ため血潮はたぎる  
いつも僕等は命がけ  
(高砂州青年歌から)



戦品回収はこゝでも熱心に、  
重い銅像の古器具を背負つて、頭  
に載せて、數里もある山路を登り  
下つて持ち運んで来るのだ。



高砂族青年團の訓練  
何んの非常時覚悟を極めりや  
院に若さの力がこもる  
萬古ゆるがむ南の島を  
守る僕等は命がけ  
(高砂州青年歌から)



勤勞奉仕は番社の誇り。全島  
の舊地に走る垣々たる道路は吟  
んどみなこの汗の結晶だ。左は  
神社敷地の地均し工事。



出征軍人家族の慰問  
正義聖戦を目的の  
勇士思へば感謝に泣けて  
微力乍らも銃後のために  
立てる僕等は命がけ  
(高砂州青年歌から)



大陸の空遠く猛威を振ふが  
並野の物陰に咲くこの赤誠  
航空機の減費油として臺灣の誇  
る「愛國花」の栽培。



日軍旗懸へる野原に、暖  
かい日射しを一杯にあびて  
舌切雀の童話に眼み取ける  
蕃山の子供たち。





海の  
彼方

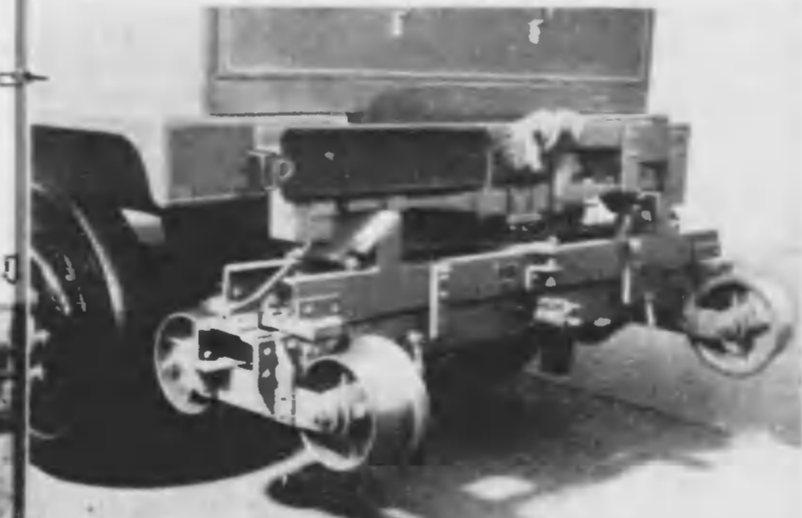
小児科病院御訪問の英國兩陛下  
イギリス皇帝ジョージ六世陛下はエリザベス皇后御同伴、十月十八日、新築成つたロンドン・グレートオーモンド街の小児科病院に赴かれ、親しく入院中の子供たちを御見舞あそばされた。



イタリー義勇兵スベインよりかへる  
フランス将軍側に従軍、義勇兵としてスペイン戦線に活躍してゐた一萬名のイタリー兵士はナポリ港に歸還、歡呼の聲に迎へられて久しぶりに母國の土を踏んだ。

アメリカの女子職  
業職興隆あり  
米國の就職難はますます深刻になつて來てゐる。ワシントン「一事務所」では、「六人掃除給入用」とはりだし、たところ千五百人の女性が必要。しかもその中の五百人は前の夜から事務所にきつて殺到。事務所の扉が開かれると、隣所に小銃合戦がおこり、交通は遮断され、警官が出勤した。最近の就職難の一例。

フランスに世界自動車展開かる  
パリの一九三八年年度自動車展覧會はシヤンゼリゼエのグランパレンで十月十八日から開催され、世界各社の自備する自動車がおびただしく出品された。アールペール・ルブラン大統領も參觀、自動車ファンの話題になつてゐる。寫眞右は同サロンの出品されたレールの上も走るといふドイツの新自動車で鐵道の線路の上にある時は後部の車輪がおりされてガソリン・カーのやうに軌道上を自由に走る。



イギリスに女子自警團組織さる  
歐洲はまだ戦争の危機をはらむ暗雲が低送してゐる。イギリスには最近女子自警團が結成され、カーキ色のユニフォームを身だんで連日訓練が續けられてゐる。(ロンドンにて)

寫眞協會  
同盟通信社



編輯部情報閣内

トッレフンバの策國

週刊



毎水曜日發行  
見本御希望の方は内閣印刷局宛御申出下さい

印刷局發行  
内閣印刷局直賣所  
各地支店  
東京市神田区西本町一丁目九番地  
東京市丸の内區神田區  
東京市丸の内區神田區  
東京市丸の内區神田區  
東京市丸の内區神田區  
東京市丸の内區神田區

読者のカメラ

祝武漢占領  
十月三十日武漢市民の武漢臨時記念大行進はそよよる秋雨を伴って漢陽公園を出発、沿道に溢れる歓呼を浴びて伊勢山皇大神宮に到着、併せて戦捷祈願をおこなった。

祝ブカンカンラカ  
福井縣越前女子師範學校  
武蔵三浦郡落の公報をうける  
百は校庭に集合し、祝ブカンカンラカの人文字を描いた。そして感涙にあふれた全生徒は町内旅行列へ、忠魂碑の記念式へ。



お正月號用  
「読者のカメラ」募集  
毎號、力強い日本、たのしい健康の精神が溢れるお正月の心象を、読者の皆さんから募集いたします。現在の常設コーナーは、昭和十一年元日號には、お正月の心象を、読者の皆さんから募集いたします。お正月の心象を、読者の皆さんから募集いたします。お正月の心象を、読者の皆さんから募集いたします。

歌呼沸く  
京都陸軍病院では白衣の勇士の健康増進と親睦をはかるため、同病院創立記念日の一日全院運動會を開催した。秋空晴れて球入の勇士の心も輝いた。



船の清掃  
大津市上島町 谷口辰夫  
敬神崇祖の念はたいげな子供たちの胸にもよく浸透してゐる。氏神様はわたしたちの手で清めようとしてゐる。風の日も境内を掃き清めてゐる。



所 込 申	價 定	寫眞週報(兼轉載)
各書店・新聞販売所	一ヶ月(前金)四圓八十錢	昭和十三年七月二十三日印刷發行
各新聞販売所	一ヶ月(前金)四圓八十錢	編輯部 内閣情報部
寫眞材料店	一ヶ月(前金)四圓八十錢	印刷部 内閣印刷局
	一ヶ月(前金)四圓八十錢	東京市神田區大塚町

表紙 今昔、盛装した表紙の頭目、豹の爪の呪を戴き、銀と精舎玉の輝然たる胸飾りをつけ、山嶺の陣羽織を穿、一尺五寸の着刀をさしこみ、七尺五寸の大身の槍を小脇に、くつと暮山の彼方をにらむ面影は、攝影 渡邊健吉

……に化強康健の民國

# 磨齒ブラク 薬用



殺菌・浄化力の強い  
専賣特許の薬用齒磨

に防予齒シム  
に化強康健



健康總動員の世の中です！その健康を左右する齒磨にはもつと御注意を！強い殺菌・薬効作用をもつ薬用クラブ齒磨があつてこそ、始めてムシ歯や齒槽膿瘍を完全に豫防し、あなたの健康を一層強化する事が出来るのです。



大楠公印  
クラブ齒磨

(本賣の大小は國定規格A4・「選報」特刊)

東京新聞 昭和十三年十一月二十一日 第三版 東京新聞 昭和十三年十一月二十一日 第三版 東京新聞 昭和十三年十一月二十一日 第三版